

(記入例)
施策別評価シート

| 推進施策1-1 | | | |
|---|---|----------------|---------|
| 文化に触れる機会が少ない人に対する鑑賞・活動機会の提供 | | | |
| | | | 評価対象年度 |
| | | | 年度 |
| アウトプット指標① | 子ども・親子向け文化イベントの参加者数 | 目標値 (令和8年度) | 80,000人 |
| 事業実施者 | 個別事業・イベント名 | | 参加者数 |
| なら100年会館 | よちよちコンサート～親子で楽しむ～ | | 345 |
| なら100年会館 | 第40回なら100年会館こども人形劇場 | | 207 |
| | } | | |
| ならまちセンター | 親子と楽しめるならまちクリスマスコンサート | | 447 |
| ならまちセンター | 絵本ギャラリーIN奈良 | | 3,300 |
| | | | 合計 |
| | | | 48,000 |
| アウトプット指標② | 文化鑑賞・活動におけるバリアを除く事業数 | 目標値 (令和8年度) | 65事業 |
| 事業実施者 | 個別事業・イベント名 | | 事業数 |
| なら100年会館 | 文化の絆で奈良を結ぶ アウトリーチ事業 | | 2 |
| なら100年会館 | 公共ホール音楽活性化事業 ピアノソロリサイタル | | 2 |
| | } | | |
| 奈良市音声館 | 出張わらべうた教室 | | 46 |
| | | | 合計 |
| | | | 58 |
| 成果 | | | |
| <p>子ども・親子向けのイベントについては、特に音楽分野において多くの事業が実施でき、また参加者数も多かった。アンケートによると市内の参加者の比率が高く、地域に根付いているイベントが多いものと考えられる。内容が似通っている企画もあるが、開催時期や実施形態に差をつけることで、多様性を担保している。広報については、子ども・親子向けのイベントの情報を集約して発信するなど、工夫が必要である。</p> <p>文化鑑賞・活動におけるバリアを除く事業については、事業数が昨年度(〇〇事業)から増加している。これまでアウトリーチ事業において派遣していた施設で複数回実施できたことによる増加であり、今後は新規の派遣先の調整等を検討する。</p> <p><参考情報> (〇〇〇年) 市内15歳未満の人口：41,212人 市内18歳未満の子がいる世帯数：32,056件(核家族世帯28,249件)</p> | | | |
| 総合評価 | | | |
| 評価項目 | | | 評価平均値 |
| 有効性 | 実施した内容は事業の目的に対して効果を有する内容であったか | | 4.2 |
| 必要性 | 社会環境や市民ニーズを踏まえた上で、文化振興のために必要な内容であったか | | 4.8 |
| 効率性 | 投入したコスト(費用や時間)見合った成果が上がる事業であったか | | 3.7 |
| 市民文化 | 市民等の文化への関心を高め、主体的な文化活動・文化鑑賞に繋がる内容であったか | | 4.6 |
| 都市文化 | 奈良のアイデンティティを明確にし、都市としての価値を高める内容であったか | | 3.6 |
| 独自評価項目 | バリアフリー事業：普段、文化に触れる機会が少ない人が気軽に参加できる内容であったか | | 4.4 |
| 総括 | | | |
| <p>文化庁世論調査(令和3年度)によると、文化に触れる機会が少ない原因としては「近所で公演や展覧会などが行われていない」ことや「入場料・交通費など費用がかかり過ぎる」ことが挙げられる。新型コロナウイルス感染症の流行により、市内での文化事業の数が減少傾向であり、また参加にかかる費用も増加している傾向がみられる。無料や安価で気軽に参加できる事業を展開していくことが必要である。</p> | | | |